

地域連携プラットフォームについて

令和5年3月15日（水）

沖縄産学官協働人材育成円卓会議

地域連携プラットフォーム（仮称）体制検討ワーキンググループ における検討状況について

令和4年7月4日に開催された沖縄産学官協働人財育成円卓会議において、地域連携プラットフォーム（仮称）の構築について意見交換が行われた。

今後、円卓会議構成員から委員を選出し、ワーキンググループを設置して体制の検討を行うことが了承された。

ワーキンググループの構成員について

- ・産 業 界：沖縄経済同友会
沖縄県産業振興公社
- ・高等教育機関：沖縄国際大学
琉球大学
- ・行政機関：沖縄県 総務部総務私学課
商工労働部産業政策課

ワーキンググループ実施状況

- ・第1回WG:令和4年12月 8日(木)
- ・第2回WG:令和5年 1月30日(月)
- ・第3回WG:令和5年 2月 9日(木)
- ・第4回WG:令和5年 2月27日(月)

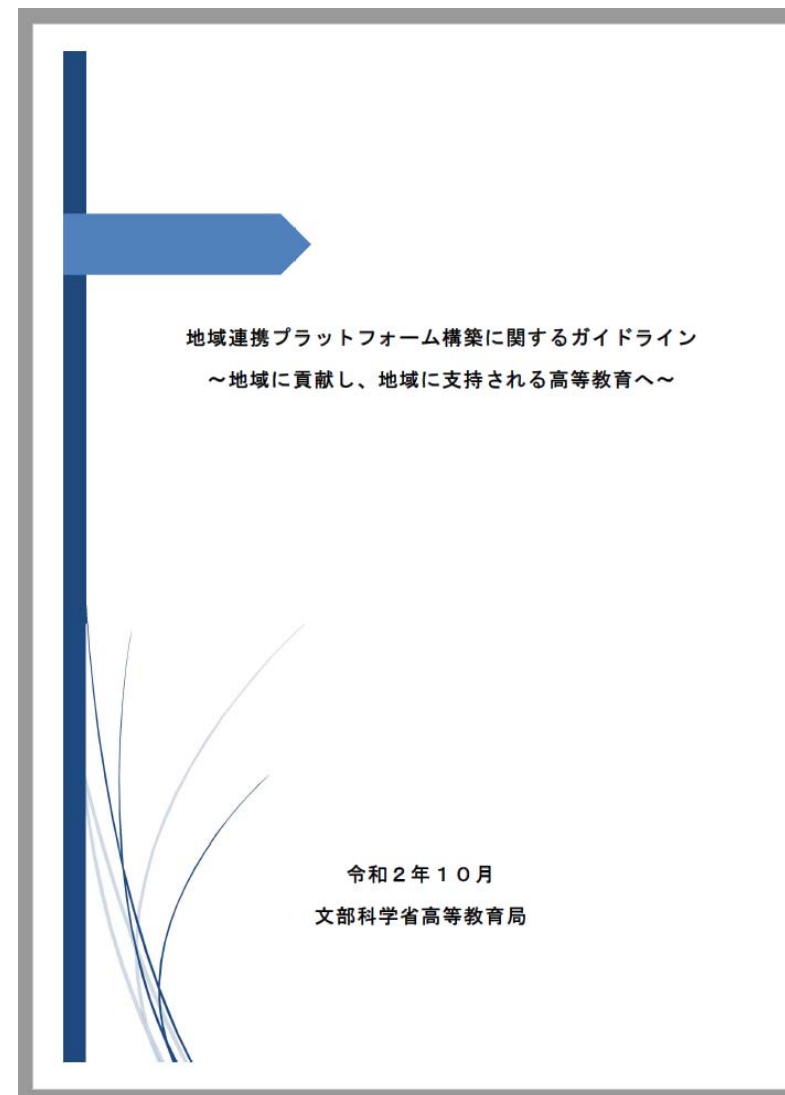
ワーキンググループで検討・共有した内容

「地域連携プラットフォーム」に求められている役割

高等教育機関との連携による地域人材育成に関する
「ビジョンの共有、協働による取組」

地域連携プラットフォーム

大学等、地方公共団体、産業界等
が連携し、地域社会のビジョンや
高等教育を取り巻く現状と将来像
について共有・理解を図り、
お互いの立場を越えて恒常的に
議論を交わす場



https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/platform/mext_00994.html

「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」
においても

基本施策5

(3)多様な能力を育て、力強く未来を
拓く人づくり

ウ「地域の発展に寄与する魅力ある、
高等教育環境の充実」

②官民連携による「地域連携プラット
フォーム(仮称)」の構築と展開」

と位置付けられている。

新・沖縄21世紀ビジョン実施計画
(前期：令和4年度～令和6年度)



令和4年9月
沖縄県

参加機関の取組み状況や意向

大 学：企業等と連携した授業の開設やリカレントプログラム等
地域が求める人材育成の実施事例がある

最近ではプラットフォーム等による需給のマッチングが
ますます重要になってきている

経済界：人材支援団体間の勉強会などを実施している

直近としては県の基幹産業でありコロナの影響を受けた
観光業などにおいて人材確保、育成が急務

参加機関の取組み状況や意向

県商工：県内企業の人材ニーズ把握に努めており
地域連携プラットフォーム等関係機関と連携し
人材育成に取り組んでいく

県総務：新しいビジョン計画の実施計画にも位置付け

県庁内の各部や教育庁等との連携も重要であり
県の役割や、地域連携プラットフォームの
具体的な機能や体制等の検討が必要

参加機関が欲しい情報

大 学：どの分野の人材が不足しているか

経済界：大学等と連携して何ができるか
教育機関における実施体制はどうなっているか

県商工：企業等のニーズ

県総務：地域連携プラットフォームに関する関係機関のニーズ

大学における企業との連携講義の事例について

・「沖縄の航空事業と地域振興」

島嶼県である沖縄の生活や産業を支えている航空事業について、JTA・RACの寄附講義として琉球大学において2017年に共通教育科目として開講されたのを皮切りに、現在では沖縄国際大学、沖縄高専においても同名・同様の科目が開講されている。

前期・後期に各15回の講義として構成され、琉球大学では毎年100名程度の学生が受講している。

琉球大学では、島嶼地域における航空人材の育成を第4期中期計画に位置付け、その主要科目として展開していくこととしている。

大学における企業との連携講義の事例について

・経済産業省の補助事業について

「高等教育機関における共同講座創造支援補助金」

企業等が、大学・高等専門学校等の高等教育機関において、自社が必要とする専門性を有する人材の育成を図るための講座やコース・学科等（以下、共同講座）を設置することを目的として費用を支出する際、当該費用の一部を助成

https://www.meti.go.jp/policy/innovation_corp/koutou_kyouiku_kikan_niokeru_kyoudoukouzasousyutu.html

大学における企業との連携講義の事例について

・文部科学省の補助事業について

地域ニーズに応える産学官連携を通じたリカレント教育プラットフォーム構築支援事業

令和4年度第2次補正予算額 3.0億円 文部科学省

事業を実施する背景・概要

- 大学等がリカレント教育を継続的に実施するための課題として、**ニーズ把握やそれに対応した教育プログラムの提供、受講生確保に向けた広報・周知等**が挙げられている。(文科省調査より)
- これらの課題解決に向けた取組は、個別的教育機関単位ではなく、**地域単位で行うことが効果的・効率的であると考えられ、さらに、リカレント教育の取組を地域に根付かせ、地域ニーズに応じた人材育成に資するものと考えられる。**
- このため、**大学コンソーシアムや自治体等において、①地域に分散している人材ニーズの調査・把握、②教育コンテンツの集約、③それらのマッチング、④広報・周知等を産業界のニーズを踏まえながら効果的・効率的に実施する体制を整備できるよう、産官学金の対話の場（リカレント教育プラットフォーム）の構築や、コーディネーターの配置等に必要な経費を措置し、地域ニーズに応える人材の継続的な輩出に向けた仕組みの定着化を図る。**

事業スキーム

【委託対象】大学コンソーシアム・自治体等（10か所×3,000万円程度）



【主な実施事項】 * 赤字は特に重要な部分

- リカレント教育に関する人材ニーズの調査
- コーディネーター配置
- 大学等のニーズと地域ニーズのマッチング
- プログラムや事例の広報・周知（コンテンツ集約）
- プログラム開発の後方支援
- 連携委員会開催
- 自走に向けたコンサルティング
- 成果のとりまとめ・全国展開

政府文書等における提言

「骨太の方針」（令和4年6月7日閣議決定）

- ・（略）学が意欲がある人への支援の充実や環境整備、**成長分野のニーズに応じたプログラムの開発支援や学び直しの産学官の対話、企業におけるリカレント教育による人材育成の強化等の取組を進める。**

「教育未来創造会議提言」（令和4年5月政府会議決定）

- ・ 大学等において、産業界や地域のニーズに合ったリカレント教育を推進するため、**企業や地方公共団体等と必要な人材像や求めるプログラム等について議論する場を設け、継続的なリカレント教育実施に向けた支援を行う。**

自民党「教育・人材力強化調査会」提言

- ・ 地域の産学官等で、求めるプログラム等について議論する場を設け、**産官学連携でプログラムを開発するなど、地域に密着したリカレント教育プログラム開発の支援**

事業を通じて得られる成果（インパクト）

- ✓ 地域の人材ニーズの把握やニーズに合ったプログラムの開発・提供・運用改善、**広報・周知やコンテンツ集約の実現。**
- ✓ コーディネーターの配置を通じて、大学等が提供できるシースと地域や産業界のニーズの効率的なマッチングの実現。
- ✓ ニーズに応えたプログラムを継続的に提供する好循環を創出し、**人材供給を通じての地域課題解決の実現。**

（本事業に関する問い合わせ先）
syokugyou@mext.go.jp

大学における企業との連携講義の事例について

・リカレントやリスキリングに関するプログラム

琉球大学リカレント教育プログラム
(キャリアUP支援)

2022年12月開講

対象 沖縄県内の社会人等及び
沖縄県内への就職又は転職を希望されている方

受講期間 2022年12月1日(木)～2023年1月28日(土)

受講方法 インターネットによるオンライン講座
※受講するためのPCやインターネット環境は各自でご準備ください。

申込期間 2022年10月24日(月)～11月18日(金)

申込方法 応募サイトからの申込み又は応募用紙の郵送・FAX
<https://chiiki.skr.u-ryukyu.ac.jp/>

募集定員 30名 **受講料** 無料

講師



QRコード

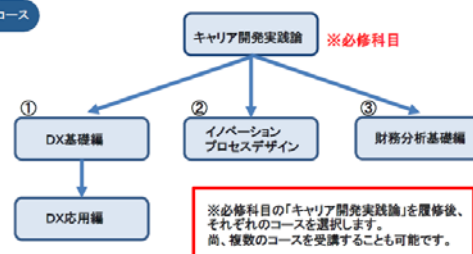
【問合せ先】 国立大学法人琉球大学総合企画戦略部地域連携推進課
TEL: 098-895-9058 FAX: 098-895-8185

琉球大学リカレント教育プログラム
(キャリアUP支援)

科目

講義名	講義内容	講師名	初回開講日	備考
キャリア開発実践論 (※必修科目)	自己のキャリア形成について、対面とオンラインによりグループワークやロールプレイング、ディスカッション、プレゼンテーション等のPBLにより社会人のキャリア開発に必要なスキルを身につける。	牛窪 潔	12月1日(木)	毎週木曜日 18:30～21:00
DX基礎編 (選択科目)	DXの最新の機りに注意しDXの本質についての基礎知識と戦略的に見るセンスを養う。AI、IoTなどの初歩的な内容を解説し、デジタルアレルギを克服、現場の課題に取り組みやすくする。	仲谷 康	1月5日(木)	18:30～21:30
イノベーションプロセスデザイン (選択科目)	世界を一新させるようなイノベーションはどのようなプロセスによって誕生するのか、その原理と実際の学習を通じて、人材育成とプロセスデザインの実践方法を習得を目標とする講義です。	和渡 俊久 徳藤 幸起	1月7日(土)	10:00～12:00
財務分析基礎編 (選択科目)	企業を取り巻く環境や財務諸表の構造等を理解するとともに、具体的な分析手法を習得し、財務諸表を読み解く能力を身につける。	船島 修	1月7日(土)	13:30～16:00
DX応用編 (選択科目)	DXの本質は競争優位の構築であるため経営戦略の構築方法を学ぶ。戦略構築ゲーム、ケースでセンスを磨く。さらには参加者自身の課題をケース・スタディし、戦略構築とDXの実践力を磨く。	仲谷 康	1月19日(木)	18:30～21:30

コース



※必修科目の「キャリア開発実践論」を履修後、それぞれのコースを選択します。
尚、複数のコースを受講することも可能です。

【問合せ先】 国立大学法人琉球大学総合企画戦略部地域連携推進課
TEL: 098-895-9058 FAX: 098-895-8185

ヒアリング等の候補機関について

- ・人材育成を実施している機関

商工会議所・商工会・青年部、各市町村 のほか
下記を担当している機関

- ・沖縄で重点的に取組むべき産業や分野を担当している機関

沖縄観光コンベンションビューロー (OCVB)

沖縄ITイノベーション戦略センター (ISCO)

沖縄県情報産業協会 (IIA)

JETRO

地域連携プラットフォームで取組むべき分野やキーワードについて

- ・観光産業
- ・ICT産業
- ・バイオ関係
- ・エネルギー部門
- ・流通
- ・金融

- ・リカレント・リスキリング
- ・SDGs
- ・DX
- ・数理・データサイエンス・AI
- ・STEAM教育

その他、話題になった事項

- ・県内大学と県外大学のインターンシップの時期のズレ
- ・取組を継続するための仕組みも重要
- ・各企業が実施している社員教育と大学の授業との連携模索

ワーキンググループの今後の進め方について

- ・令和5年も円卓会議、WGは継続し、議論の深める
- ・令和5年度末までにプラットフォームの体制案をとりまとめ
- ・WGにおいて人材育成事業を試行し、認識を共有する
- ・沖縄産官学協働人材育成円卓会議との関係を整理する

本日の意見交換においても「地域連携プラットフォーム」に関して
以下の点についてご助言をお願い致します

- ・高等教育機関と連携した地域人材の育成に関して
各機関の取組み状況やプラットフォームへの期待について
- ・プラットフォームの構築に向けたヒアリング等の候補機関について
- ・プラットフォームで取組むべき分野やキーワードについて
- ・ワーキンググループの今後の進め方について